

たかそう 連携だより

地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

2026年発行
第236号
9月号

地域連携症例検討会

心臓血管内科・心臓血管外科 2~3

心臓血管内科部長 太田 昌樹

心臓血管外科部長 茂原 淳

骨密度測定器DXAの 共同利用について

4

リハビリテーション科部長 新井 厚

外科系診療部長 荒 毅

専門・認定看護師紹介

5

がん放射線療法看護認定看護師 長島 春香

緩和ケアニュース 6

リハビリテーションだより 7

市民公開講座のご案内 8

医師紹介コーナー 9

地域医療連携登録医のご紹介 10~11

セカンドオピニオンのご案内 12~13

外来診療担当表 14~15

院長閑話 16

草津白根

提供：患者サポートセンター スタッフ

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

心臓血管内科・心臓血管外科
領域疾患の診断と治療の連携

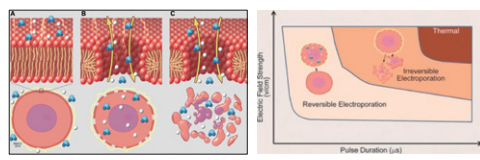
心臓血管内科

第65回地域連携症例検討会にて、心臓血管内科からは、①不整脈、②虚血性心疾患、③心不全の3領域から症例提示をおこないました。

【①不整脈】

持続性心房細動による不整脈誘発性心筋症を生じ、うっ血性心不全を発症した症例でした。心房細動に対するカテーテルアブレーションを施行し、EF 20%→60%と、心機能は正常化し、心不全状態から離脱いたしました。心房細動は無症状だったとしても心不全や脳梗塞など重篤な疾患を引き起こす可能性があり、早期治療が推奨されます。心房細動に対するカテーテル治療はパルスフィールドアブレーションが主流となり、従来治療と比べて同等以上の有効性・安全性が示されており、当院でも2025年2月より使用を開始し、すでに300例以上の使用経験があります。

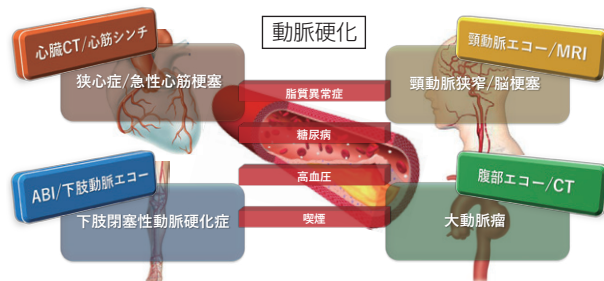
パルスフィールドアブレーションの治療原理



PFAは「不可逆電気穿孔法（IRE：Irreversible Electroporation）」という細胞破壊の原理を応用した治療です。①高電圧パルスの照射 心臓内に挿入したカテーテルの先端から、ごく短時間に、高頻度・高電圧の電気パルス照射します。②細胞膜への微小な孔の形成 電気パルスによって、心筋細胞の細胞膜に目に見えないほど微小な孔を無数にあげます。③不可逆的な細胞死の誘導 孔が自己修復できないレベルに到達すると元に戻らなくなります。結果、心筋細胞は細胞死へと導かれます。

【②虚血性心疾患領域】

右冠動脈に慢性完全閉塞性病変を有し、入院中にVF stormを生じた急性心筋梗塞の症例を提示いたしました。緊急カテーテル治療5日後にVF storm（心室細動を繰り返す危険な状態）となり、薬物治療、右冠動脈の血行再建、心室期外収縮へのカテーテルアブレーションをおこないました。突然死予防のため植込み型除細動器を移植いたしました。心臓血管内科の複数分野にまたがる集約的治療が検討・実施できる当院の強みが生かされた症例でした。虚血性



心疾患は発症を防ぐ一次予防と発症後の急性期治療、再発予防や続発疾患への治療が必要であり、地域の先生方と当院の連携が重要です。

【③心不全領域】

完全左脚ブロックによる「完全左脚ブロック誘発性心筋症」の症例を提示いたしました。1か月前に心不全増悪のため他院に入院し、薬物治療後も心不全再増悪の兆候があり、当科にご紹介いただきました。冠動脈造影や心臓MRIなど各種検査で心機能低下の明らかな原因はなく、完全左脚ブロック誘発性心筋症と診断し、両心室ペースメーカー移植による心臓再同期療法（CRT）をおこないました。左室同期不全を解除し、NT-proBNPの正常化、左室の縮小とEF 25%→58%への改善が得られました。

心不全を起こしうる病態は様々で、集学的治療が不可欠です。再増悪の防止に、急性期から慢性期へのシームレスな連携が重要とされています。

心血管疾患は発症・再発予防のために生活習慣の改善や基礎疾患の管理が非常に重要です。地域全体で治療に臨む体制が必要であり、今後とも開業医の先生方との連携を密にし、質の高い医療を提供できるよう精進してまいります。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

心不全総合外来をご活用ください

BNP>35
NT-proBNP>125

心不全発症予防
(ステージA/Bへの介入)

心不全増悪予防
(ステージCへの介入)

当日検査：血液検査・胸部Xp、心電図、ABI、心エコー、体組成など

心不全早期診断プロジェクト

前橋・高崎・太田医療圏における
心不全早期診断プロジェクト

※群馬大学医学部附属病院
「脳卒中・心臓病等総合支援センター」事業

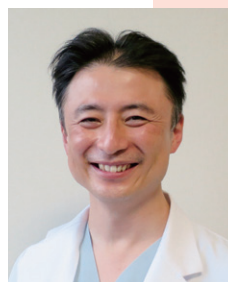
心不全総合外来

・退院後患者に対する管理状況の確認
・定期評価（退院1年後以降）、心保護薬調整
・両立支援



座長
静 毅人 先生
 (静内科)

心臓血管内科部長
太田 昌樹
 (左)



心臓血管外科部長
茂原 淳
 (右)



心臓血管外科



今回の第65回地域連携症例検討会では、急性B型大動脈解離の治療経過で経験した、「大腸ポリペクトミーで顕在化した、TEVAR後のDICの一例」について症例提示させていただきました。

旧来は保存的加療が主流であったB型大動脈解離ですが、現在は、complicated症例と、uncomplicated症例とに分類されます。complicated症例とされる、破裂の危険性が高い症例や、灌流障害を合併する症例に対しては、ステントグラフト内挿術を行うことが推奨されています。当院でもこれに従い、complicated症例に対しては急性期・亜急性期にステントグラフト内挿術を行っております。

また、既製のステントグラフトでは治療が困難な症例に対しては、開窓型ステントグラフトの作成や、分枝血管の血流を確保するために、煙突のように細径のステントグラフトを併用留置するチムニー法を併用したステントグラフト内挿術を行い対処しています。これらの症例についても提示させていただきました。

その他、血管内治療のみでは対処不可能な症例に対しての、開胸手術を併用してのHybrid治療についても提示させていただきました。

血管病変の治療は手術治療で終了ではなく、その後の血圧管理や、生活習慣の改善等が継続的に必要となります。また、提示したB型大動脈解離の症例のように、経過観察中に治療介入が必要となる場合もあります。このため、地域の先生方との連携を密にしながら、今後も症例の治療にあたっていければと考えております。先生方のご要望、ご期待にお応えできるように、これからも精進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

3.1.2 complicated

表 40 complicated 急性 / 亜急性 Stanford B 型大動脈解離の治療の推奨とエビデンスレベル

	推奨 クラス	エビデンス レベル
急性例への初期治療としての心拍数と血圧の厳格なコントロールを行う (心拍数 < 60/min, 100 mmHg ≤ 収縮期血圧 ≤ 120 mmHg) ^{1264, 1266-1270)}	I	C
急性例を緊急手術 (血管内治療または外科手術) が可能な施設へ搬送する ⁶⁸⁾	I	C
急性・亜急性例に TEVAR を行う ^{384, 386, 390, 392, 1271, 1272, 1274, 1275, 1280, 1288, 1308-1311)}	I	C
灌流障害のある急性・亜急性例に対し血管内治療 (血管内開窓術・血管内ステント留置) を考慮する ^{140, 477-481, 1276-1279)}	IIa	C
血管内治療が困難な灌流障害例に外科手術 (外科的開窓術・バイパス術) を考慮する ^{1133, 1278, 1312-1315)}	IIa	C

2020年改訂版 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン
 (日本循環器学会/日本心臓血管外科学会/日本胸部外科学会/
 日本血管外科学会合同ガイドライン)

骨密度測定器DXAの共同利用 について



リハビリテーション科部長 新井 厚 外科系診療部長 荒 毅



日頃より地域の先生方においては、地域医療連携のご協力をいただき、ありがとうございます。
心より感謝申し上げます。

さて、超高齢化社会を迎えた日本において、寝たきりや要介護状態になる原因である骨脆弱性骨折は増加の一途をたどっています。特に、大腿骨や脊椎の骨折は、患者さんのQOLを著しく低下させ、健康寿命を縮めてしまう深刻な問題となっています。それ故に、その骨折を予防する骨粗鬆症の治療は、非常に重要なものとなっています。

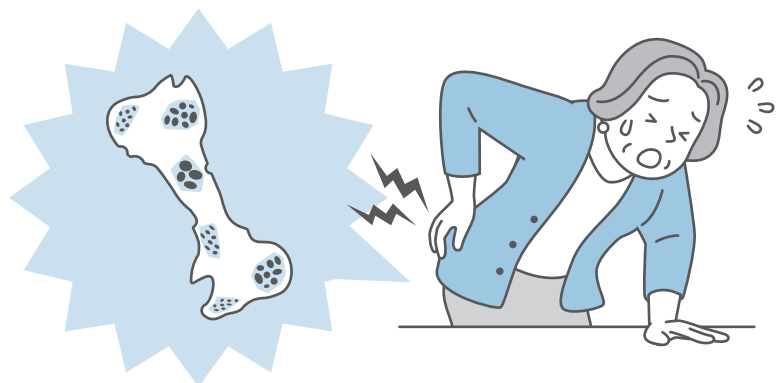
骨粗鬆症の治療において重要なことは、骨密度を客観的かつ正確に評価し、ガイドラインに基づいた適切治療を行なっていくことだと考えています。

当院では、骨粗鬆症診断のスタンダードであるDXA法を用いた骨密度測定器を導入しています。高精度な検査を地域全体で有効活用していただくため、地域の先生方とのDXAの共同利用ができればと考えています。

日頃から患者さんを診られている先生方におかれましては、一度詳細な骨密度を測っておきたいと思われる患者さんがいらっしゃいましたら、是非当院のDXAをご利用下さい。当院で詳細な検査を受けていただき、その測定結果に基づき、先生方のクリニックで継続して骨粗鬆症の治療、管理を行なっていただくという病診連携ができればと考えています。

2026年10月1日から、当院のMRI、CTの共同利用と同様に、WEBにて予約をとれるような運用を考えています。簡単でかまいませんので紹介状を書いていただき、ご紹介いただけると幸いです。どうぞお気軽にご活用下さい。

地域の先生方とともに、脆弱性骨折で困っている患者さんを一人でも減らすことができる連携ができればと願って止みません。



専門・認定 看護師紹介



がん放射線療法看護
認定看護師

長島 春香

皆さま、こんにちは。初秋の候、いかがお過ごしでしょうか。

私は、がん放射線療法看護認定看護師として、放射線治療を受ける患者さんとご家族が安心して治療に臨めるよう支援しています。がん放射線療法看護認定看護師は、放射線治療に関する専門的な知識と技術を持ち、治療前の不安や疑問への対応、治療中の副作用対策、治療後の生活に関する相談など、患者さん一人ひとりに合わせた看護を提供することを役割としています。現在、がん放射線療法看護認定看護師は群馬県内でも7名と少なく、皆さまにとってあまり馴染みのない資格かもしれません。私はその一人として、患者さんやご家族の不安や悩みに耳を傾けながら、安心して治療に向き合えるようお手伝いしています。「こんなことを聞いてもよいのかな」と思うようなことでも、気軽にご相談いただければと思います。

がんの三大治療の一つである放射線治療は、医療技術の進歩に伴い、より安全で精度の高い治療へと発展しています。当センターでは、2025年12月から神経内分泌腫瘍および前立腺がんを対象に、核医学治療を開始しました。これは、がん細胞にピンポイントで放射線を運ぶ薬を点滴し、体内からがんを攻撃する新しい治療法です。詳しくは「たかそう連携だより2026年1月号5ページ」をご覧ください。また、放射線治療装置も更新され、患者さんの負担をできるだけ少なくしながら、より効果的な治療が行えるようになりました。医師や診療放射線技師など多職種と協力しながら、患者さんが安心して治療を受けられる環境づくりに努めています。また、患者さんを支える看護師への相談支援や教育活動も行い、それぞれの患者さんに適した看護が提供できるよう取り組んでいます。

これからも患者さんにご家族に安心して治療を受けていただけるよう、専門性の向上に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



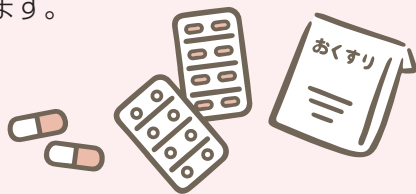
緩和ケア ニュース

医療用麻薬の種類と特徴

痛みをやわらげるために使用する医療用麻薬には様々な種類の薬があります。薬の形によって特徴があるのでご紹介します。麻薬と聞くと怖いイメージがあるかもしれませんが、正しく使用すれば安全に使用できる薬です。

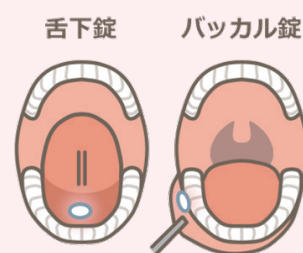
① 経口剤（錠剤、粉薬、液剤）

簡単に飲める形で薬の量の調節がしやすく、患者さん自身での管理も簡単です。薬がゆっくりと体内で放出される形や、すぐに効果が発現する形などの種類があります。



② 舌下錠、バツカル錠

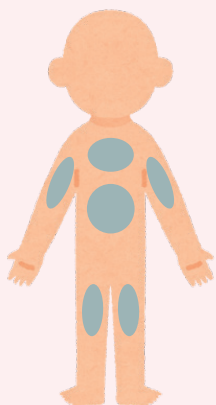
薬を飲み込まずに口の中の粘膜から吸収することで素早く痛みをやわらげることができます。



舌下錠は舌の下で薬剤を唾液で溶かす薬剤です。バツカル錠は頬の内側と歯茎の間に薬剤を挟んで溶かす薬剤です。飲み込んでしまうと効果が下がるため注意が必要です。

③ テープ剤

皮膚から薬剤を吸収する薬剤です。腕、胸、おなか、ふとももに貼ります。効果が出るまで時間がかかるため（12時間程度）、用量の調節が難しいです。テープをはがしてからもしばらく効果が続きます。薬を飲み込めない患者さんに使用できます。温めることで、体内に吸収される薬の量がふえすぎてしまうため注意が必要です。



④ 坐剤

おしりから挿入して使用する素早く効果があらわれる薬剤です。薬を飲みこむのが難しい患者さんに使用できます。自身で使うことが困難であればサポートが必要になる場合もあります。

⑤ 注射薬

点滴は最も早く効果が出て用量調節がしやすい薬剤です。自宅に持ち帰り使用することもできますが医療従事者による管理が必要となります。

主治医と相談しながら自分に合った薬剤で
痛みのコントロールをしていきましょう。



リハビリテーション室 だより

暑い日こそ「おうち運動」を取り入れましょう！

近年、日本では9月以降も暑い日が多くなっています。「運動を続けたいけれど、暑くて外に出られない」「熱中症が心配で散歩を控えている」という方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、暑い時期でも無理なく続けられる「おうち運動」や、涼しい場所を活用した運動についてご紹介します。

運動は筋力や体力の維持だけでなく、転倒予防や生活習慣病の予防にも役立ちます。しかし、暑い時間帯の屋外での運動は熱中症の危険があるため注意が必要です。エアコンの効いた室内で体を動かしたり、比較的涼しい施設を利用したりすることもよい方法です。

自宅では、椅子からゆっくり立ち上がって座る「立ち座り運動」や、椅子や机につかまりながら行う「かかと上げ運動」がおすすめです。それぞれ10回程度を目安に、痛みのない範囲で行いましょう。また、肩や足首を回すストレッチも、体をほぐし血行を促す効果が期待できます。

最近では、ショッピングモールの開店前や営業時間内に館内を歩く「モールウォーキング」に取り組む施設も増えています。実際に、高崎市内でも実施しているショッピングモールがあり、天候や暑さを気にせず、快適な環境で歩くことができます。平坦な床で休憩ス

ペースやトイレも利用しやすく、買い物とあわせて無理なく運動習慣を続けられる点も魅力です。お住まいの地域で実施している施設があるか調べてみるのもよいでしょう。

運動をするときは、室内でもこまめな水分補給を心がけ、体調が優れないときは無理をしないことが大切です。暑い季節は無理に外へ出ず、室内での運動や冷房の効いた施設を利用するなど、熱中症を予防しながら適度に体を動かしましょう！



市民公開講座 のご案内

専門職 中澤 光

例年、地域の方々に向けた当院主催「市民公開講座」の第31回開催日が、10月12日（祝・月）に決定いたしました。

当院スタッフから「がん」に関する説明や講義をできるだけ分かりやすく身近に感じていただけるように努めている講座ですが、今年度は昨今世界でも注目されており、当院でも昨年度より力を入れている次世代がん治療として、「核医学治療」の最前線についてご紹介させていただくプログラムを予定しております。

「核医学治療」と聞くと、とても難しい印象を持たれるかもしれませんが、がん細胞を破壊できる放射性物質を直接がん細胞に送り込むことで治療する方法で、手術のように体を傷つけることなく治療ができるというメリットもあり、これから特に発展していく治療法として期待されています。



独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター
[第31回] 市民公開講座

世界が注目する
次世代がん治療
核医学治療の最前線

参加無料
予約不要
定員 200名

令和8年
10月12日[月]
時間 | 12:00より受付(12:30開場)

高崎市総合福祉センター
たまごホール 群馬県高崎市末広町115-1
お車で越しの方へ
当施設を利用された方は無料になります。但し、駐車券の提示が必要です。お車で越しの方へは、駐車券を必ずたまごホールの総合受付へ提示願います。

お問合せ窓口
お問合せは下記日程の10時～17時にお願いたします。
令和8年9月7日(月)～10月9日(金)[土・日・祝日はお休みとなります]
TEL:027-212-0111 (高崎総合医療センター市民公開講座事務局)
※座席予約はできません。感染症対策のため座席制限する場合があります。
万が一、定員を超える場合は、先着順といたします。ご了承ください。

当日のプログラム
[13:00～15:00(終演予定)]

高崎総合医療センター
開講の挨拶 院長 | 経路診療部長 坂元 一郎(さかもと いちろう)
開講の挨拶 副院長 伊藤 郁朗(いとう いくろう)
①世界創薬業界でも最もホットな次世代治療
新しい治療:核医学治療について
化学療法に取って代わる! 画像診断センター部長 根岸 幾(ねがし ちかし)
②肺・消化管神経内分泌腫瘍に対する
ルタテラ治療 内科系診療部長 長沼 篤(ながぬま あつし)
③前立腺がん核医学治療の新時代
フルヴィクト治療が切り開く未来 外科系診療部長 柴田 康博(しばた やすひろ)
④核医学治療を受ける患者さんの
入院時の過ごし方/
退院時の過ごし方について 放射線診療部長 廣井 建太(ひろい けんた)
開講の挨拶 臨床研究部長 柿崎 暁(かきざき きたる)

独立行政法人 国立病院機構
高崎総合医療センター
がん診療連携拠点病院[22.3.3指定]

①がん診療連携拠点病院に指定されています。
②がん診療について、診療ガイドラインに準ずる標準的治療等の医療を提供します。
③がん医療について、放射線治療、薬物療法、化学療法等の充実に取り組んでいます。
④がん診療連携拠点病院に指定されています。
当院は、上記により、がん治療の充実を図り、他の「がん診療連携拠点病院」と連携し「がん患者さん」が最良の医療を受けられるよう努めています。

当院では、2010年4月から「核医学治療」の診療を行っておりますが、新たに2025年12月から肺・消化管神経内分泌腫瘍に対するルタテラ治療を開始し、2026年1月からは前立腺がんに対するフルヴィクト治療も開始しております。

言葉や文章だけで見ると、やはり取っつきにくいと感じられることと思いますが、当院の専門医師や診療放射線技師より、これら新しい治療の解説から、核医学治療の有効性、さらには治療を受ける患者さんの入院時から退院時までの過ごし方についてもお話させていただきます。

ご参加にあたりまして事前の予約は必要ありませんので、市民の皆様、是非是非奮ってのご来場をお待ちしております。

医師紹介

当センターの医師を紹介します。



眼科

くぼた だいち
久保田 大智

今年度7月より東京都にある昭和医科大学からの派遣で当院眼科に着任いたしました、久保田大智と申します。私はこれまで大学病院で眼科診療に携わり、多くの白内障手術執刀をはじめ、眼瞼手術や緑内障、網膜疾患、視神経疾患、ぶどう膜炎など幅広い眼疾患について診療・研鑽を積んでまいりました。日々の診療では、患者さん一人ひとりの生活背景やご希望を大切にしながら、病状や治療方針について分かりやすく説明することを心がけています。眼は日常生活を送るうえで非常に大切な役割を担う器官です。視力の低下や見え方の変化は、生活の質にも大きく影響します。そのため、病気を早期に発見し、適切な治療につなげることが重要です。

当院では、地域の皆様が安心して眼科診療を受けられるよう、スタッフの皆さんと協力しながら、質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。これまで培ってきた知識や経験を活かし、患者さんに寄り添った診療を行なっていきたいと考えております。目のことで気になることがございましたら、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



産婦人科

おざき ゆうた
尾崎 佑太

2026年4月より高崎総合医療センター産婦人科に赴任いたしました、尾崎佑太と申します。出身は群馬県沼田市で、群馬大学医学部を卒業後、利根中央病院で初期研修を行い、その後、群馬大学産婦人科に入局いたしました。以降は群馬県内の総合病院で勤務し、産科・婦人科診療に携わってまいりました。

当科では、妊娠・分娩管理をはじめ、婦人科良性疾患、婦人科悪性腫瘍、急性腹症や不正出血など、幅広い産婦人科診療を行っております。地域の先生方からご紹介いただいた患者さんが安心して受診できるよう、丁寧な診療を心がけております。わかりやすい説明にも努めてまいります。

高崎をはじめ、地域の皆様の医療に少しでも貢献できるよう、日々努力してまいります。些細なことでもご相談いただきやすい関係づくりを大切に、一つひとつの診療に誠実に取り組んでまいります。まだ至らぬ点も多くあるかと存じますが、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

医療法人 瑞穂会 みさと診療所

院長あいさつ

当診療所は高崎市箕郷町に開院以来、『必ずお力になります』を基本姿勢に、地域包括ケアを担う医療機関として医療・看護から介護リハビリテーション・保健・予防に至るまで、良質の医療・福祉の提供を職員一同で務めてまいりたいと思います。



医療法人瑞穂会
みさと診療所
院長

合志 裕一

診療科・病院案内



内科・外科（消化器外科、内視鏡）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:00～17:30)	●	●	◆	△	●	△	△

◆水曜の午後は15:30からです。

※午前の受付は11:30まで、午後の受付は16:30までです。

群馬県高崎市箕郷町上芝628-1 TEL: 027-350-6080

みさと診療所では院長をはじめ非常勤の専門医の先生方と共に安心と誠実の医療を提供する為、心を込めて笑顔で優しくをモットーに職員一丸となって日々がんばっております。また、地元の「かかりつけ医」として外来診療と入院医療、人間ドックをはじめとした健診事業も行っております。法人内には老人保健施設やサービス付き高齢者向け住宅も併設されており、地域の医療と福祉に貢献できるよう取り組んでいます。

まゆずみ皮膚科

院長あいさつ

当院は昭和49年に高崎市台町に開業して以来、皮膚科専門クリニックとして一般皮膚病診療を、近年には美容皮膚診療も行っており、先進的な治療を積極的に導入しています。“健康な肌は日々の予防から”を基本理念とし、皮膚疾患の予防と治療に取り組んでいます。



まゆずみ皮膚科
院長

黛 暢恭

診療科・病院案内

皮膚科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:00)	●	●	△	●	●	●	△
午後(15:00～17:00)	●	●	△	●	●	◆	△

※診療は予約制（web予約のみ）です。予約外の方は当日予約枠があります。

◆土曜午後は完全予約制の“しみ専門外来”と“にきび専門外来”となります。

群馬県高崎市台町27-4 TEL: 027-324-0417

皮膚科専門医による一般的な保険診療（湿疹、じんましん、水虫、带状疱疹など）とほくろや小腫瘍の日帰り手術、しみ・くすみ治療を中心とした美容皮膚診療を行っております。加えて、土曜午後は完全予約制の“しみ専門外来”と“にきび専門外来”を開設し、日本に数台のにきびレーザーによる治療など、より高度な治療を提案しています。

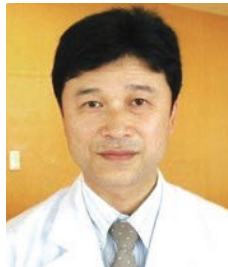
一般外来の平日と土曜午前は原則的に予約診療とさせていただきますが、当日枠もありますのでお問い合わせください。

たかはし眼科クリニック

院長あいさつ

たかはし眼科クリニックは、地域の人たちにとって、“なくてはならない眼のクリニック”になりたいと願っています。

視力に関すること、ちょっとした眼の異常、重大な眼の異常、子供の眼の相談、まぶたの異常、体に関連した眼の異常（高血圧、糖尿病など）、他の医院で言われた眼の異常（セカンドオピニオン）などに対して、気軽に相談いただけるクリニックでありたいと考えております。当院で、できるだけ治療や指導を行います。ただし、病気によっては当院だけの治療では不十分なこともあります。その場合、群馬大学眼科と協力して治療にあたる体制を整えております。長年にわたり、眼科医として外来、手術、研究を行ってきました。その経験を生かして診療にあたります。



たかはし
眼科クリニック
院長

高橋 京一

診療科・病院案内

眼科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:30~18:00)	●	◆	△	●	手術	△	△

◆第4火曜日の午後：他院で手術のため、午後は診療開始が遅れるか休診になります（近くなったら掲示します）

群馬県高崎市西島町320 TEL：027-350-7077

一般眼科外来、眼科レーザー治療、白内障手術（日帰り）、眼瞼手術（日帰り）などを行っています。

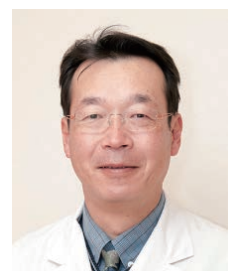
検査機器では、コンピュータによる視野測定、三次元画像解析装置（OCT）を完備しております。駐車場は40台、キッズルームもありますので、お気軽にお越し下さい。

たけべ医院

院長あいさつ

父の代から50年この地で診療を行っており、在宅医療を含め、地域医療に力を注いでおります。

体調で気になることがあれば、どんなことでもご相談ください。



たけべ医院
院長

竹部 兼太郎

診療科・病院案内

内科・外科・消化器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:30~12:00)	◆	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:00)	◆	●	●	●	●	△	△

◆第3月曜日は休診となります。

群馬県富岡市一ノ宮1635 TEL：0274-67-5500

当院では、消化器（胃、大腸、肛門、肝臓、胆のう）などの疾患を中心に、幅広く診断治療を行っています。苦痛の少ない、経鼻内視鏡による胃カメラ検査や、最近増えている大腸疾患に対しては、積極的に大腸内視鏡検査も行っています。高崎総合医療センターとも病診連携を行っており、入院治療が必要であれば直ちに最適な治療が受けられるように連携しています。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんで本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、
脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、放射線診断科、
放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～16時30分

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

概ね30分 11,000円（消費税込み）

※2025年6月1日から

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長沼 篤 増田 智之	消化器病一般、肝臓病 食道、胃、大腸	随時
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳 太田 昌樹 福田 延昭	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療） 不整脈一般 心不全、弁膜症	金 水 木
外 科	坂元 一郎 家田 敬輔 平井 圭太郎 宮前 洋平	消化器外科全般 上部消化管 肝臓、胆のう、膵臓 下部消化管	水 水 水 水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生 高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科 乳がん全般・甲状腺外科	随時 随時
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史 高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般 肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木 火
脳 神 経 外 科	田中 志岳 佐藤 晃之	脳腫瘍 血管障害	月 金
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾 佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心 画像診断CT・MR中心	木 火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

2026年4月1日現在

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 午前	(木村 彰仁) 午前	(田村 耕成) 午前	佐藤 正通 午前	佐藤 正通 午前
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後	佐藤 正通 午後	(合田 史) 午後・総合診療感染症外来	
腎臓・膠原病リウマチ内科	内藤 聖 午前：新患	(都野 柚香) 午前	渡辺 光治 午前	内藤 聖 午前	中里見 征央 午前
血液内科	(三井 健揮) 午後				
内分泌・代謝内科	渋谷 信行	(高橋 里奈) 午前	植原 良太	渋谷 信行	渋谷 信行
		(植原 正也)			植原 良太
脳神経内科	平柳 公利	平柳 公利	唐澤 将紀	柴田 真	木部 朱理
	木口 友紀		木口 友紀		
呼吸器内科	山村 彩 午前	細野 達也	小林 頂	中川 純一	細野 達也
	久野 花凜	倉島 優理亜	(田口 浩平)	黒岩 裕也	根生 明李
消化器内科	長沼 篤 午前	星野 崇 午前	柿崎 暁 午前	長沼 篤 午前	上原 早苗 (紹介のみ)
	安岡 秀敏 午前	鈴木 悠平 午前	安岡 秀敏 午前	増田 智之 午前	佐野 希望 午前
	上原 早苗 午前	佐野 希望 午前	増田 智之 午前	鈴木 悠平 午前	書上 愛 午前
	成清 弘明 午前	成清 弘明 午前	小玉 祥平 午前	齋藤 肇 午前	小倉 南海 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / (井戸)	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (午前)	太田 昌樹	高橋 伸弥	広井 知歳	福田 延昭	小林 紘生
	村田 智行	大駒 直也	羽鳥 直樹	高橋 洋右	谷内 亮太
新患外来(午前)	福田 延昭	福田 延昭	高橋 伸弥	羽鳥 直樹	福田 延昭
狭心症外来(午前)	村田 智行				
不整脈外来(午後)	太田 昌樹		太田 昌樹		小林 紘生
心不全総合外来(午後)		高橋 伸弥		高橋 伸弥	
ペースメーカー外来(午後)					太田 昌樹
精神科	山崎 雄高	山崎 雄高	山崎 雄高	山崎 雄高 (神出 誠一郎)	山崎 雄高
小児科	溝口 史剛 午後第2,4,5週のみ	溝口 史剛 午後	倉田 加奈子 午後	倉田 加奈子 午前	佐藤 幸一郎
	吉川 晟羽 午後第2,4,5週のみ	倉田 加奈子 午前	佐藤 幸一郎 午後	佐藤 幸一郎 第2,4週午後	小笠原 聡
	中島 悠吾 午後	田口 未奈 午前	五十嵐 恒雄 午前	小笠原 聡 午後	湯原 幸弘 第1,2,4,5週
	大関 壘 午後	大関 壘 午前	石井 大暉 午後	小林 慶汰 午後	五十嵐 恒雄 午後
	五十嵐 恒雄 午前	五十嵐 恒雄 午後	(滝沢 琢己) 第2,4週午後	(春日 夏那子) 午前	(浅見 雄司) 第3週午後のみ
		木村 優也 午後	<乳児健診> 午前	(八木 龍介) 午後	
小児外科	(西明・高澤慎也) 第1,3週午後		(西明・高澤慎也) 第3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来	小川 哲史 午前	家田 敬輔 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来	平井 圭太郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来	宮前 洋平 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来
	鈴木 雅貴 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来	真木 茂雄	大曾根 勝也 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来	関 貴臣	根岸 諒
	有馬 大樹				
栄養サポート外来		小川 哲史 午前			
禁煙外来		小川 哲史 午後			
ストーマ外来			第2,4週午後・予約	予約	

01 外来診療受付時間

8:30~11:00まで

(予約の場合は最終予約時間まで)
※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはこちらの二次元コードよりご確認ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和8年8月1日現在

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 大井薫	柴田康博 栗原聰太 大井薫	交代制	柴田康博 井上雅晴	交代制
疼痛緩和内科 看護外来	午前・午後 鯉淵幸生 尾林紗弥香	午前・午後 田中俊行 高他大輔 尾林紗弥香	午前・午後 田中俊行 高他大輔 尾林紗弥香	午前・午後 田中俊行 (中澤祐子) 第2,4週午前	午前・午後 田中俊行 鯉淵幸生 高他大輔 尾林紗弥香 交代制 第1,3,5週午後 第2,4週午前 <手術日>
乳腺・内分泌外科	<手術日>	交代制 午後 伊部崇史 高坂貴行 第1,3週午前/第5週午前・午後 第2,4週 新井萌々花	<手術日>	羽鳥恭平 伊部崇史 高坂貴行 新井萌々花 午後	茂原淳 午前 <手術日>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後 伊部崇史 高坂貴行 第1,3週午前/第5週午前・午後 第2,4週 新井萌々花	<手術日>	羽鳥恭平 伊部崇史 高坂貴行 新井萌々花 午後	茂原淳 午前 <手術日>
呼吸器外科	<手術日>	交代制 午後 伊部崇史 高坂貴行 第1,3週午前/第5週午前・午後 第2,4週 新井萌々花	<手術日>	羽鳥恭平 伊部崇史 高坂貴行 新井萌々花 午後	茂原淳 午前 <手術日>
整形外科	荒穀毅 信太晃祐 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 毛呂駿臣	荒穀毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 南館和輝	新井厚 茂木智彦 <手術日>	一ノ瀬剛 大島淳文 南館和輝
骨粗鬆症外来		新井厚 午後			
形成外科	交代制 午後 <手術日>	正田晃基 高井美那 午後	正田晃基 高井美那 計良佳彦 第1,5週午前/第2,3,4週午後 第2,3,4週午前/第1,5週午後 午後	高井美那 計良佳彦 午後 <手術日>	正田晃基 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳	連携枠 午前 岡田悦子 今井みちる	<手術日>	鹿兒島海衛 今井みちる (井上千鶴) 午前	佐藤晃之 岡田悦子 朝鳥彩子
皮膚科	交代制	岡田悦子 今井みちる	岡田悦子 朝鳥彩子	今井みちる (井上千鶴) 午前	岡田悦子 朝鳥彩子
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 尾崎佑太	<産後健診> (小林梓) 午前	伊吹蘭 (金井眞理) 午前 (森田晶人) 午前 伊藤郁朗	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来					
眼科	土屋明 紹介・予約 久保田大智	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 紹介・予約 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史
放射線治療科	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴 (中川真知)	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴 (井上徹朗) 午前
歯科口腔外科	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子	<手術日> (荒井亮/辻野啓一郎) 第2,4週のみ	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子 佐竹杏奈 柴野正康 午前 午後	<手術日>
新患外来	佐竹杏奈		柴野正康	柴野正康	
摂食嚥下外来		府馬亮介/渡邊真央 午前			府馬亮介/渡邊真央 午前

() の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.63

勝って驕らず、
負けて腐らず

院長 小川 哲史



アメリカ、カナダ、メキシコの3カ国で開催された北中米サッカーワールドカップ、いかがだったでしょうか。日本がずいぶん強くなって欧州や南米の国々と互角に戦えるようになり、選手たちが掲げていた優勝にはまだまだ遠い感じですが、ワールドカップの楽しみ方が変わりました。世界最高峰の選手たちの素晴らしいプレー、エキサイティングな試合を堪能しましたが、今回のワールドカップは残念ながら不快なこと、余計なことがなんとも多かった大会でした。

大きな問題となったのが、米国代表のFWが一発退場となりながら、トランプ氏個人がFIFAの会長に処分の見直しを求めたところ、次戦は出場停止だった処分が、なんと「1年猶予」となり次のベルギー戦に先発出場しました。また決勝戦では、アメリカの国歌だけを流し共催国のカナダとメキシコの国歌はなし。さらに表彰式にはアメリカ大統領だけが登壇し、しかも優勝チームの選手たちがトロフィーを掲げる際にもステージから降りようとしなかった、など。

さらに驚いたのは、決勝戦のハーフタイムショー。前半が終了すると、ピッチ上には地球を模したシートが敷き詰められ、多数のダンサーたちが踊りはじめ、次いでマドンナやBTS、ジャスティン・ビーバーなど世界的なスーパースターが次々と登場、通常は15分のハーフタイムを大幅に延長し30分近くのショーが行われました。米プロフットボールの「スーパーボウル」では恒例だそうです。世界の多様性を表現したというこのショータイム、こんなこと必要でしょうか。緊迫した決勝戦のハーフタイムに、サッカーファンはショーを見たいと思いますか。アメリカ商業主義の象徴であるショービジネス、まさに熱戦に水を差した無用な演出だと感じました。

また、ハイドレーションブレイク。本来は猛暑時における熱中症予防やコンディション維持のために導入された制度ですが、涼しい室内の試合でも実施され、本来45分ハーフ制が実質的に4クォーター制に近い形となりました。どうもこの制度の導入の大きな目的の一つが、この間にスポンサーのCMを流すことだったらしく、その商魂には唖然とします。

それにもまして今回の決勝戦はスポーツマンシップとはかけ離れた呆れた試合でした。残念ながらサッカーにはマリーシアなる戦術(?)があり、勝つためにはルールの範囲内外で相手や審判を巧みに欺く「ずる賢さ」や試合運びの駆け引きが必要とされています。しかし、これは反則行為とまでは言わなくても、フェアプレーの精神に全く反しています。決勝戦における某国の選手のラフプレーと審判に対する大げさで執拗な抗議、さらに悪いことは試合後には敗戦チームの選手にコーチまでもが加わって、優勝チームの選手に暴行を加えるというありえない蛮行、そしてそれに続く表彰式での礼儀を欠いた振る舞い…。何とも後味の悪い決勝戦となりました。

私たち日本人は子供の頃から「うそは泥棒の始まり」「お天道様がみている」と教えられてきて、「日本人にはマリーシアがない、だから日本サッカーは弱い」とも言われてきました。しかし、この私たち共通の心情こそ日本が世界に誇るべき精神でしょう。これまでも日本の選手や観客は、試合後はお互いの健闘を讃え、負けたら潔く負けを認め相手の勝利に敬意を払う。そして試合に関わる人たちに感謝し、「立つ鳥跡を濁さず」としてしっかりと振舞ってきました。以前、この行為を他国から褒められた当時のキャプテン吉田麻也選手が「グッドルーザーはもういい。ウィナーになりたい」と答えていました。その気持ちは十分理解できますが、FIFAと主催国による金欲と名誉欲、自己顕示欲が目立った今大会、「勝って驕らず、負けて腐らず」という日本人の精神を改めて誇らしく思います。「勝った負けたと～騒ぐじゃないぜ～。あとの態度が大事だよ～」水前寺清子も歌っています！

(8月12日)

Information

行事などのお知らせ

第66回地域連携症例検討会

腎臓・膠原病リウマチ内科領域疾患の
診断と治療の連携

日時：2026年9月17日(木)
18:45～20:00

演者：高崎総合医療センター
腎臓・膠原病リウマチ内科部長
中里見 征央

対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

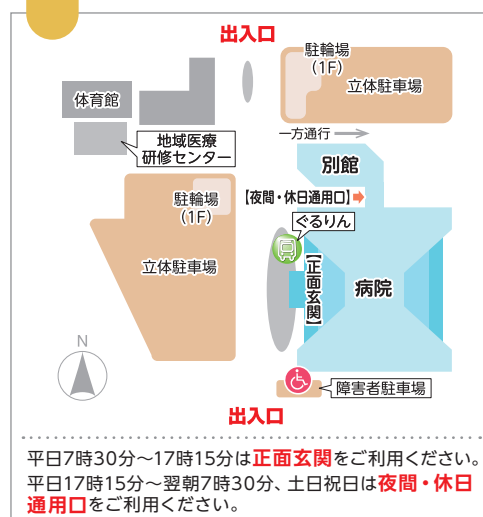
第162回カンサーボード

日時：2026年9月24日(木)
18:00～

診療科：外科
会場：高崎総合医療センター
講堂

対象：医療従事者
※申し込み不要

高崎総合医療センター案内図



平日7時30分～17時15分は正面玄関をご利用ください。
平日17時15分～翌朝7時30分、土日祝日は夜間・休日
通用口をご利用ください。

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835 (医療機関専用ダイヤル)

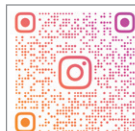
ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



Facebook



Instagram



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター